



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年10月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 中部飼料株式会社

コード番号 2053 URL <http://www.chubushiryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久光 正郎

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 牛田 豊

TEL 052-562-2010

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	84,267	11.0	1,799	19.2	1,906	16.3	1,355	11.8
28年3月期第2四半期	75,898	△2.5	1,510	136.7	1,639	179.8	1,213	193.9

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,522百万円 (348.8%) 28年3月期第2四半期 339百万円 (△59.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	44.73	—
28年3月期第2四半期	44.12	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	69,607	44,943	63.8
28年3月期	75,439	43,673	57.2

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 44,379百万円 28年3月期 43,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	9.00	—	9.00	18.00
29年3月期	—	9.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,000	7.5	3,400	△0.7	3,500	△6.3	2,400	△8.0	79.26

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	30,371,908 株	28年3月期	30,371,908 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	53,845 株	28年3月期	93,623 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	30,306,706 株	28年3月期2Q	27,498,402 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 期末自己株式数については、従業員持株ESOP信託口が所有する当社株式(28年3月期40,000株)を含めて記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど緩やかな回復基調が続いているものの、中国経済の景気減速や英国のEU離脱決定による影響への懸念から、景気の先行きに不安が広がっております。

飼料業界におきましては、安値で推移していた主原料のとうもろこし価格が、米国中西部の高温・乾燥予報や南米の悪天候などから4月以降急騰した後、米国の大豊作見込みから夏以降下落しました。こうした状況を反映して、飼料メーカー各社は4月に大幅な値下げをした配合飼料価格を7月に値上げしました。第1四半期は原材料価格の下落を上回る値下げとなり、非常に厳しい事業環境でありましたが、夏以降はとうもろこし価格の値下がりや円高進行により、厳しさが幾分和らぎました。しかしながら、メーカー間の競争はさらに激化しており、厳しい状況は続いております。

このような状況のなか、当社は顧客の利益に貢献する差別化飼料の拡販や前期に締結した日本ハムグループ、伊藤忠商事グループとの資本業務提携を活かして売上拡大を図りました。また、前期に連結子会社化したみらい飼料株式会社を活用し、全国10工場の全体最適化による生産性向上やスケールメリットによるコストダウンで原価を低減するなど利益の改善に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高842億67百万円（前年同四半期比11.0%増）、営業利益17億99百万円（前年同四半期比19.2%増）、経常利益19億6百万円（前年同四半期比16.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益13億55百万円（前年同四半期比11.8%増）となりました。

売上高は、畜産飼料の平均販売価格が低下したものの、前期の10月に連結子会社化したみらい飼料株式会社の売上が加わったことや、畜産飼料の販売量が前年同四半期を上回ったことなどにより、11.0%の増収となりました。営業利益は、水産飼料が好調であったことや販売費及び一般管理費が減少したことなどにより、19.2%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、11.8%の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(飼料)

売上高は、第1四半期の大幅な値下げの影響で平均販売価格が低下したものの、連結子会社化したみらい飼料株式会社の影響や飼料販売量が前年同四半期を上回ったことから、前年同四半期比15.0%増の718億39百万円となりました。セグメント利益は、原料ポジションが大幅に悪化したものの、低魚粉飼料が高い評価を得て業績を伸ばした水産飼料や畜産飼料の拡販でカバーし、前年同四半期比8.8%増の15億40百万円となりました。

(コンシューマー・プロダクツ)

売上高は、特殊卵の販売量が増加したものの畜産物が減少したことなどにより、前年同四半期比9.4%減の89億46百万円となりました。セグメント利益は、特殊卵の販売増がけん引し、前年同四半期比16.3%増の1億70百万円となりました。

(その他)

売上高は、前年同四半期比2.6%減の34億81百万円、セグメント利益は、前年同四半期比1.3%増の1億84百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ58億31百万円減少の696億7百万円となりました。流動資産は413億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ50億20百万円減少しました。これは主に現金及び預金が6億94百万円、受取手形及び売掛金が32億99百万円、その他の流動資産が9億40百万円減少したことによるものであります。固定資産は282億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億10百万円減少しました。これは主に有形固定資産が5億11百万円、投資有価証券が1億86百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ71億1百万円減少の246億64百万円となりました。流動負債は180億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ80億6百万円減少しました。これは主に買掛金が9億58百万円、短期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が69億85百万円減少したことによるものであります。固定負債は65億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億4百万円増加しました。これは主に長期借入金が8億84百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ12億70百万円増加の449億43百万円となりました。これは主に利益剰余金が10億83百万円増加したことによるものであります。総資産が減少して純資産が増加した結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ6.6ポイント上昇の63.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、38億35百万円となりました。当第 2 四半期連結累計期間における資金の減少は 6 億94百万円でありました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は63億14百万円（前年同四半期比34億19百万円増加）となりました。主な資金獲得の要因は税金等調整前四半期純利益18億90百万円、減価償却費12億12百万円及び売上債権の減少32億45百万円の計上であります。一方、主な資金使用の要因は法人税等の支払額 4 億72百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は 6 億64百万円（前年同四半期比23億27百万円減少）となりました。これは主に固定資産の取得による支出 7 億42百万円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は63億38百万円（前年同四半期は23億53百万円の資金獲得）となりました。これは主に借入金の減少が純額で60億97百万円、配当金の支払額 2 億72百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年 3 月期の業績予想につきましては、平成28年 4 月28日に公表いたしました数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年 6 月17日）を第 1 四半期連結会計期間に適用し、平成28年 4 月 1 日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年 3 月28日）を第 1 四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成28年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,539	3,845
受取手形及び売掛金	30,097	26,798
商品及び製品	2,398	2,260
仕掛品	676	607
原材料及び貯蔵品	6,237	6,396
その他	2,735	1,795
貸倒引当金	△348	△388
流動資産合計	46,336	41,315
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	6,911	6,694
機械装置及び運搬具 (純額)	6,629	6,336
工具、器具及び備品 (純額)	648	662
土地	8,363	8,338
リース資産 (純額)	17	15
建設仮勘定	4	14
有形固定資産合計	22,574	22,062
無形固定資産	398	343
投資その他の資産		
投資有価証券	5,308	5,121
長期貸付金	2	5
退職給付に係る資産	5	5
その他	1,120	1,060
貸倒引当金	△307	△307
投資その他の資産合計	6,129	5,885
固定資産合計	29,102	28,292
資産合計	75,439	69,607

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成28年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,235	11,276
短期借入金	8,159	1,666
1年内返済予定の長期借入金	2,067	1,575
未払法人税等	496	594
賞与引当金	400	477
役員賞与引当金	44	—
その他	2,689	2,496
流動負債合計	26,093	18,087
固定負債		
長期借入金	3,063	3,948
債務保証損失引当金	38	15
退職給付に係る負債	671	683
資産除去債務	84	84
その他	1,813	1,844
固定負債合計	5,672	6,577
負債合計	31,765	24,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,736	4,736
資本剰余金	4,394	4,390
利益剰余金	33,245	34,328
自己株式	△58	△33
株主資本合計	42,317	43,421
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,291	1,157
繰延ヘッジ損益	△273	2
為替換算調整勘定	6	△19
退職給付に係る調整累計額	△224	△183
その他の包括利益累計額合計	800	958
非支配株主持分	555	564
純資産合計	43,673	44,943
負債純資産合計	75,439	69,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)
売上高	75,898	84,267
売上原価	68,078	76,420
売上総利益	7,819	7,847
販売費及び一般管理費	6,309	6,047
営業利益	1,510	1,799
営業外収益		
受取利息	4	1
受取配当金	69	87
持分法による投資利益	2	2
貸倒引当金戻入額	30	2
債務保証損失引当金戻入額	10	23
保管料収入	91	—
その他	63	74
営業外収益合計	272	190
営業外費用		
支払利息	27	25
保管料原価	85	—
株式交付費	29	—
為替差損	—	41
その他	0	16
営業外費用合計	143	83
経常利益	1,639	1,906
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除売却損	7	14
ゴルフ会員権評価損	0	2
特別損失合計	7	16
税金等調整前四半期純利益	1,632	1,890
法人税、住民税及び事業税	340	550
法人税等調整額	74	△25
法人税等合計	415	525
四半期純利益	1,217	1,365
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,213	1,355

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)
四半期純利益	1,217	1,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△407	△134
繰延ヘッジ損益	△494	276
為替換算調整勘定	0	△2
退職給付に係る調整額	19	41
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△24
その他の包括利益合計	△878	156
四半期包括利益	339	1,522
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334	1,513
非支配株主に係る四半期包括利益	4	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,632	1,890
減価償却費	1,176	1,212
持分法による投資損益 (△は益)	△2	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	41	77
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△36	△44
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	28	51
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	21	20
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	△10	△23
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	103	41
株式交付費	29	—
受取利息及び受取配当金	△73	△88
支払利息	27	25
為替差損益 (△は益)	0	8
ゴルフ会員権評価損	0	2
固定資産除売却損益 (△は益)	6	13
売上債権の増減額 (△は増加)	△121	3,245
たな卸資産の増減額 (△は増加)	215	38
仕入債務の増減額 (△は減少)	194	△203
その他	58	456
小計	3,293	6,723
利息及び配当金の受取額	75	88
利息の支払額	△28	△23
法人税等の支払額	△446	△472
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,894	6,314
投資活動によるキャッシュ・フロー		
貸付けによる支出	—	△4
貸付金の回収による収入	231	50
有価証券の取得による支出	△1,819	△5
固定資産の取得による支出	△1,413	△742
固定資産の売却による収入	10	16
その他の支出	△8	△16
その他の収入	8	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,991	△664

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,505	△6,493
リース債務の返済による支出	△1	△1
長期借入れによる収入	1,300	1,800
長期借入金の返済による支出	△1,280	△1,405
株式の発行による収入	4,052	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	26	33
配当金の支払額	△237	△272
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,353	△6,338
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,257	△694
現金及び現金同等物の期首残高	1,153	4,529
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,410	3,835

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	62,445	9,878	72,323	3,574	75,898	—	75,898
セグメント間の 内部売上高又は振替高	338	0	339	22	361	△361	—
計	62,784	9,878	72,662	3,597	76,260	△361	75,898
セグメント利益	1,415	146	1,562	181	1,743	△111	1,632

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△587百万円、金融収支472百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。

II 当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成28年 4 月 1 日 至 平成28年 9 月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飼料	コンシューマー・ プロダクツ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	71,839	8,946	80,786	3,481	84,267	—	84,267
セグメント間の 内部売上高又は振替高	327	0	327	29	357	△357	—
計	72,167	8,946	81,113	3,510	84,624	△357	84,267
セグメント利益	1,540	170	1,711	184	1,895	△4	1,890

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、畜産用機器等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△516百万円、金融収支533百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益と調整を行っております。